

事務事業名		農業総務費		目標設定日	令和2年3月1日
				部・局	経済部
総合 計画 体系	基本政策	3	にぎわいと活力あふれるまちづくり	課・室	農政課
	政策	03	農林業の振興	係	農政係・振興係・耕地林務係
	施策	01	競争力のある産地体制の構築	内線電話	250・253・251
予算 体系	会計	一般会計		実施計画	
	款	6款	農林水産業費	未計上	
	項	1項	農業費	実施期間	
	目	2目	農業総務費	合併前	～

目指す姿	対象（誰のために）	市民	農業経営技術の研究等に努力し他の模範となった農業従事者の表彰を行うなどし、本市農業の振興を図る。
		農業者	（一財）信州なかの産業・観光公社農業部門の運営費に対し負担金を支払い、経営の安定を図り、農業者への支援、農業振興を図る。
現状・課題	農業経営技術奨励賞事業等事務を行っている。農繁期の労働力不足、高齢化による農作業の負担の増加が進んでいる。		
市が行う理由及びその根拠	任意的自治事務	農業経営の内容が特に優れ地域農業の模範となった者、特に奨励に値する研究等を行った者に対し表彰を行い、農業振興を図るため。	
事務事業概要	農業経営技術奨励賞事業等事務を行う。		
令和2年度の活動指標 アウトプット	活動内容		活動量
	中野市農業経営技術奨励賞の授与		2者
	信州なかの産業・観光公社への負担金の支払		1件

事務イン 事業プ ット	項目		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	予算額	当初予算	円		4,946,000	4,930,000
補正・流用等		円				—
合計		円		4,946,000	4,930,000	13,970,000
決算（見込）額 A			円	4,843,220	4,930,000	—
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	市債	円				
	その他特定財源	円		24,190	21,000	60,000
R2は予算額	一般財源	円		4,819,030	4,909,000	13,910,000
正規職員数			人	0.35	0.34	0.41
人件費 B			円	2,251,900	2,190,280	2,641,220
総事業費 A+B			円	7,095,120	7,120,280	16,611,220
市民1人当たりコスト			円	166	167	392

成果指標	アウトカム	方向	平成30年度		令和元年度		令和2年度		
農業経営技術奨励賞授与		維持	目標	2	者	2	者	2	者
			成果	2	者	3	者	—	
			目標						
			成果					—	
成果指標と目標値を設定した理由	この成果指標と目標値を設定することにより農業振興等を図るため。								

令和2年度の実施方針	例年どおり実施	活動量	維持する	コスト	維持する	成果	維持する
	引続き農業経営技術奨励賞の表彰を行い、本市農業振興を図る。						

